

第3回 周南市市民館跡地エリア 整備基本構想・基本計画 に関する有識者検討会議

令和8年7月21日(火)14:00～16:00

周南市役所 企画部 企画課

有識者検討会議スケジュール案

回	開催時期	議事内容(案)
第1回	令和8年 3月11日	1. これまでの検討経緯 2. スケジュール 3. 市民館跡地エリア整備基本構想素案について
第2回	令和8年 5月13日	○市民意見聴取結果の共有 1. 必要な施設機能および構成について 2. 配置・整備パターンの考え方
第3回	令和8年 7月21日	○市民意見聴取結果の共有 1. 配置計画の考え方 2. 事業方針案 3. 施設運営の考え方
第4回	令和8年 9月	○市民意見聴取結果の共有 1. 事業手法の検討および整備スケジュール 2. 概算事業費の算出
第5回	令和8年 10月	1. 市民館跡地エリア整備基本計画素案について 2. 今後のスケジュール

※開催時期および議事内容は変更となる可能性があります。

1. 市民意見聴取結果の共有

- 1 学生ワークショップの実施結果
- 2 子育て世代へのヒアリング実施結果

2. 配置計画の考え方

3. 事業方針案

4. 施設運営の考え方

- 1 他施設運営パターン
- 2 本施設における管理運営の基本的な考え方



1. 市民意見聴取結果の共有

1-1. 学生ワークショップの実施結果

【開催概要】

実施目的： 市民館跡地エリア整備事業やまちづくりへの関心を高めるとともに、本計画策定に向けた市民意見聴取の機会として、**学生ワークショップを開催する**。こどもの居場所や成長機会を支える場所が市内に不足している現状を把握し、本エリアの役割や導入機能、事業・サービス内容等の検討のよりどころとする。

実施対象： 市内に在住もしくは市内の学校に通う高校生～大学院生

実施日時およびテーマ案：

回数	実施日時(予定)	テーマ案
第1回	令和8年6月14日(日) 14:00～16:00	どんな経験が「成長」につながる？
第2回	令和8年7月11日(土) 10:00～12:00	市民館跡地エリアで生まれる 「成長のきっかけ」を考えよう！ 「こどもの居場所」を考えよう！
第3回	令和8年8月8日(土) 10:00～12:00	企画書にする 「市民館跡地エリアでやってみたいこと」 を考えよう！
第4回	令和8年8月22日(土) 10:00～12:00	

1-1. 学生ワークショップの実施結果

■第1回結果まとめ

誰かとの出会い

- ・手助けしてくれるひと
- ・一緒に頑張れる仲間
- ・自分と違う学校・年代のひと
- ・尊敬できる、良い影響を与えてくれるひと
- ・身近なプロ(何か極めているひと)
- ・自分を認めてくれる、素でいられるひと、味方
- ・ライバル

交流

- ・今まで関わったことのない家族や学校以外のひと、多世代と関わる
- ・協力する
- ・相手の立場に立って考える
- ・たくさんのひとの意見を取り入れる

体験

- ・知らないこと・したことがないことに触れる
- ・興味ないこともためらわないで体験、視野を広げる
- ・目標を見つける、理想を思い描く
- ・沢山のことに気づく

挑戦

- ・色んなことに挑戦する
- ・主体的に取り組む
- ・やってみようと思う、新しいことに恐れない心
- ・地域で色んな経験を積む
- ・成功して自信を持つ
- ・失敗しても諦めない、苦手なことを理解する

安心

- ・失敗しても大丈夫と思う
- ・自分のなじみやすい環境探し
- ・自分と向き合う時間
- ・自分の意見が認められる
- ・人生を楽しむマインド、ポジティブマインド

1-1. 学生ワークショップの実施結果

■第1回結果まとめ



チーム




①あこがれるひと			
【家族】 ・母 →子ども達のための気遣いがすごいから ・おばあちゃん →いつも心配してくれる	【友達・同級】 ・学校(高校)の友達 →コミカがあるって誰にでも優しい ・友達 →誰とでも仲良くすぐになれるから ・友達 →何でもできる	・友達 →生徒会長、部長を責任をもってやり遂げていた ・親友 →勉強も部活も両立しているから ・友達 →何でもできる	【先輩】 ・先輩 →リーダーのあり方を教えてくれた ・先輩 →チャレンジできる人 ・先輩 →サークルを立ち上げた同期 →先輩との人間関係を築き上げ、サークルを立ち上げたから
【仕事人】 ・職人さん →1つのことを極め続けていること	【部活の先生】 ・部活の先生 →一人一人の意見を聞いてくれる	【先輩】 ・先輩 →先輩との人間関係を築き上げ、サークルを立ち上げたから	【芸能人】 ・歌手 →音楽で人の心を動かせるから ・黒柳徹子 →慈善活動で沢山の人の助けになっている、優しい ・大谷翔平 →ストイックさ ・イクメン →服を見せるだけで、人を笑顔にできるから
②成長した、理想のひとに近づけた瞬間			
【やりとげたこと】 ・文化祭の学年発表に進んで取り組み舞台でやり遂げたこと ・キツいことに耐えた後の成功 →生徒会でみんなをまとめることができた	【成果】 ・自分から全校生徒の場で発言できるようになったこと ・学んだ知識を様々な場所を活かしたとき →自分のことを他の人に認められたとき →自分のことを他の人に認められたとき	【上達】 ・高校に入ってから交友関係がさらに大層に広がり社交性が中学の時より上がったこと ・色々なイベントに参加して、自分がやりたいことが増えていった	【考え方】 ・ポジティブマインドを大切にすること →人生を楽しむマインドで生きること →自己犠牲の気持ち
③成長に必要なこと			
【計画】 ・理想像を思い描く →目標をつくりそれに向かって努力する 【処理能力】 ・トラブルが起こった時に自分で考えてどう対策するか考える力 【気づき】 ・たくさんの方に気付く →分らないことは人に聞く(日常・小さなことでも)	【挑戦】 ・色々なことへのチャレンジ →やってみようと思う心 →人前で話す →失敗をこわがらない 【仲間】 ・ライバルと競う →協力すること	【努力】 ・頑張る続ける →今の自分に満足しない →何事も一生懸命にすること 【自己満足】 ・自分のなじみやすい環境を築くこと →自分と向き合う時間をつくる	【考え方】 ・ポジティブマインドを大切にすること →人生を楽しむマインドで生きること →自己犠牲の気持ち

参加者の声

様々な意見を聞いて、共感する部分もあり、来て良かったと思えた。歳や立場が違うことで、こうも考えが違うのかなど発見もあった。

周南市の未来について考えるためにも、次回からも自分から意見を出していきたいと思いました。

所属する学校、年齢が違う人とお話して新鮮で楽しかったです！

いつもなにげなく生活している中で自分が成長できるきっかけがたくさんあることに気がつきました。

次回予告

第2回

市民館跡地で生まれる

「成長のきっかけ・子どもの居場所」を考えよう

2026年7月11日(土) 10:00~12:00

お問い合わせ先

〒745-8655

周南市岐山通1丁目1番地

周南市企画部 市民館跡地活用推進室

TEL: 0834-22-8224

第1回で話し合った内容をもとに、次回は市民館跡地エリアで生まれる「成長のきっかけ・子どもの居場所」について、考えていただきます。

令和8年6月発行

みらいの周南っこを考える学生ワークショップ

みらいの周南について考えちよる

Vol.1



ワークショップの目的

周南市では、市民館跡地エリアに、国の施設や銀行のほか、文化小ホールや保健センター、子育て支援機能、こどもの居場所機能が入る公共施設の整備を検討しています。

市民館跡地エリアは、こどもから大人まで安心して集い、学びあい、表現し、支えあえる場所として、皆さんの日常に寄り添う、新しいまちのシンボルとなることを目指しています。

市民館跡地エリアがみらいの周南っことよっての居場所となり、「成長を支える場」となるためにはどのような環境が必要か、どのような過ごし方ができるとよいか、全4回のワークショップを通じて学生の皆さんと一緒に考えていきます。



第1回ワークショップについて

令和8年6月14日(日)、第1回 学生ワークショップを開催し、総勢44名に参加いただきました。

今回は、「どんな経験が「成長」につながる？」をテーマに皆さん自身の経験や理想の人物像などをヒントにしながら考えていただきました。「①あこがれるひと」では、いつも気にかけてくれる両親や誰とでも仲良くなれる友人などの身近な人物から、努力を続けている有名人まで、様々な意見が出ました。「②成長した、理想のひとに近づけた瞬間」では、新しいことに挑戦した瞬間やその経験、人との交流の中で知らない考え方や気づきを得た瞬間、なにかを成し遂げた瞬間という意見が多く出ました。「③成長に必要なこと」では、否定されず、認めてもらえる環境や仲間、ポジティブな考え方や現状に満足しない気持ちが必要だという意見が多く挙げられました。

第1回で話し合った内容をもとに、次回は市民館跡地エリアで生まれる「成長のきっかけ・子どもの居場所」について、考えていただきます。

■第1回結果まとめ

8

1-1. 学生ワークショップの実施結果

■第2回開催概要

開催日時	令和8年7月11日(土)
開催場所	周南市役所 多目的室
参加者数	40名
テーマ	「市民館跡地エリアで生まれる『成長のきっかけ・こどもの居場所』を考えよう」



1-1. 学生ワークショップの実施結果

■第2回結果まとめ(抜粋)

交流	体験	挑戦
◇コミュニケーション能力向上 ・いろいろな立場の人と話せる ・こどもと関わりたい ◇趣味 ・音楽好きが集まりバンドをする ・気軽に発表、公演ができる ・趣味を共有できる ◇異文化交流 ・色んな国の人と繋がれる ◇経験豊富な人 ・お年寄りの方の知恵を聞いて生活力UP! ・芸能人や憧れの人と話せる	◇視野が広がる ・ものづくり体験 ・ボランティア、職業体験 ・カフェスペースでアルバイト ・技術を教えてもらえる ◇探求 ・古文書や展示物を見られる ◇地域 ・地域を知ることによって愛着を持ち、将来周南市に残ろうとする! ・ツアーを開き、こどもたちに参加してもらう	◇企画・運営 ・学生がイベントを企画する ・こどもが運営しイベントを主催する ◇発表 ・頑張っていることを発表できる ・こどもが何かを提供できる ・美術や写真など文化系の発表 ◇発見 ・やりたいことを探す ・経験者から教わる(楽器、スポーツ、料理) ・アマチュアの人が発掘される ・色々な挑戦で可能性を増やす
こどもの居場所、どんな場所? ◇勉強 ・勉強を教えてくれる人がいる場所 ・おしゃべりOK、時間制限なしの自習室 ◇相談 ・気軽におしゃべりできる交流スペース ・進路相談できる場所 ◇交流 ・飲食可能なフリースペース ・多世代の地域の方々と話せる ・時間を気にせず居られる場所	◇音楽 ・防音室と無料の楽器 ・友達と楽器が演奏できる練習室 ・楽器に気軽に触れられる場所 ◇特技・趣味 ・特技や趣味を共有、披露できる音楽ホールやキッチン ・同じ趣味の人で交流できる場所 ◇運動 ・雨でも体を動かせる場所 ・色々なスポーツが体験できる場所	◇飲食 ・お腹がすいた時立ち寄れるカフェ ・自由に使えるキッチン ◇交流 ・作品を展示できる場所 ・こども美術展 ・パブリックビューイング ◇チャレンジ ・お金や場所の問題でできないことに手を出せる場所 ・新しいことに出会える場所
ここを一言で表すと… コミュニケーションゾーン / 未来への1歩を見つける最強な場所 / 体験・交流を通じて、リアルな自分を追い求める場所 / 未来の自分をつくる場所 / 若者中心の楽しむ場所 / じぶんMakingプレイス!! / 自由に自分をさらけ出す、きっかけの場所		

1-2. 子育て世代へのヒアリング実施結果

【開催概要】

開催日時	令和8年6月3日(水)
開催場所	周南市子育て交流センター ぞうさんの家
参加者数	8組
テーマ	「市民館跡地エリアでどんな時間を過ごせたら良いですか？」



1-2. 子育て世代へのヒアリング実施結果

- 子育て交流・支援センターは年齢制限(4歳まで)があり、年齢の異なる兄弟と一緒に連れて利用しづらい、公園は年齢を問わず利用できるが、乳幼児には危険を感じる場面もある、という意見が多かった。**年齢の異なるこどもが安心して過ごせる場所**が求められている。
- 保健センターはどの程度の悩みで相談したらよいかわからない、保育園の先生は忙しそうで相談しづらい、といった声があった。子育ての悩みや不安を誰かに相談するハードルを下げる必要がある。
- こどもには、さまざまな活動や人との出会いを通じて**興味・関心を広げてほしい**、家庭ではなかなかできない体験をさせたい、という意見があった。

【意見(抜粋)】

親子の居場所	・小学生以上のこどもの放課後や長期休み中の行き場 ・年齢の異なる上の子も一緒に連れて遊びにいとよい ・天候に左右されない屋内でこどもが遊べる場がほしい
交流・相談	・ぞうさんの家で先生や他の保護者と話しており、会話が大切だと感じている ・いつでも行けて、子育て相談をしながらこどもを遊ばせられるとよい ・こどもが大人と関われる場所があるとよい
体験機会	・家ではできない工作や何かを創る体験をさせたい ・こどもがいろんな活動を見てやりたいことが見つかる、興味の芽先を見つけられる



2. 配置計画の考え方

2. 配置計画の考え方

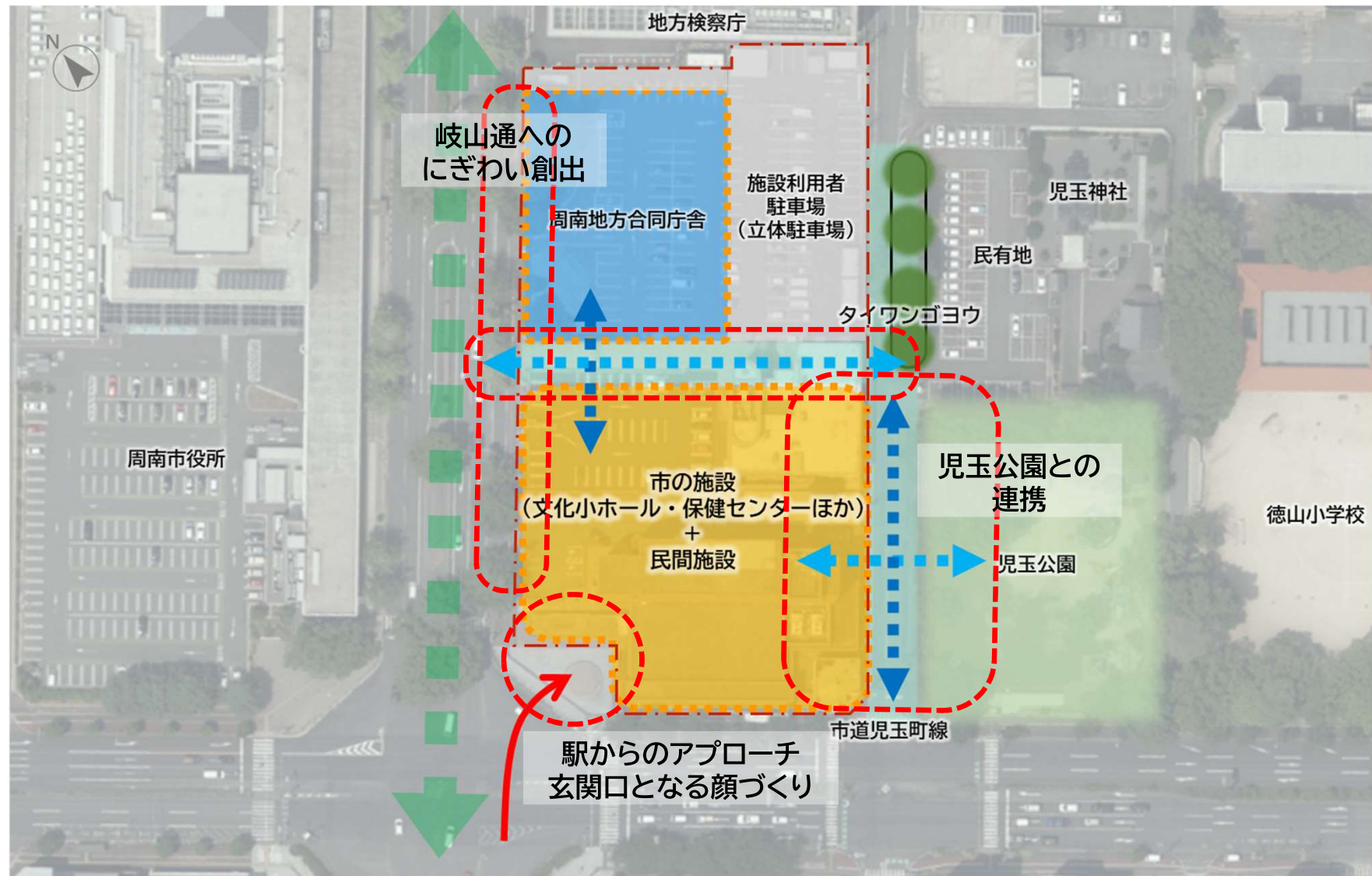
■整備パターンの検討 段階整備パターン(再掲)

市施設の整備時期イメージ			
1期整備	2期整備	3期整備 ▶	4期整備
・駐車場機能	・生活利便機能	・健康増進機能 ・子育て支援機能 ・避難所機能	・出会い・交流創出機能 ・発信拠点機能 ・創造拠点機能 ・人材育成機能 ・こども居場所機能
エリア内整備手順			
<pre> graph LR A[駐車場建設] --> B[山口銀行棟建設] B --> C[山口銀行解体] C --> D[ホール棟①建設] D --> E[保健センター解体] E --> F[ホール棟②建設] </pre>			



2. 配置計画の考え方

■エリアの現状および課題の整理(第1回資料より再掲)



2. 配置計画の考え方

■施設配置における考え方(一部中間報告再掲)

①歩行者動線・車両動線の整理

- ・徳山駅から人を引き込むような、**アプローチ動線の検討**が必要。
- ・車両動線について、一般車両は周辺道路において交通渋滞が発生しないような駐車場出入口の配置に留意が必要。さらに、歩行者動線と交錯しないことが必要。
- ・搬入車両については、大型車両が進入することも想定し、**周辺の交通状況を鑑みた動線**の検討が必要。

②近隣施設との関係・景観上の配慮

- ・近隣に位置する関連施設との関係性について留意が必要。
- ・敷地周辺に位置する**児玉公園との連携**に考慮し、**敷地内に歩行環境や緑地帯を整備**する等、周辺エリアと一体的な空間となるよう留意。また、児玉公園と本エリアの行き来ができるような動線の検討が必要。
- ・岐山通を挟んで隣接する市役所、および県道下松新南陽線沿いの景観調和に配慮し、**接道部分をセットバックした施設配置**とすることや、圧迫感を与えないよう、接道部分には大きなボリュームが配置されないようにすることも検討。
- ・各整備施設の事業主体者が異なるため、**建物間のデザインの統一性**を担保する方法が必要。

2. 配置計画の考え方

■施設配置における考え方(一部中間報告再掲)

③にぎわい創出・都心軸形成への寄与

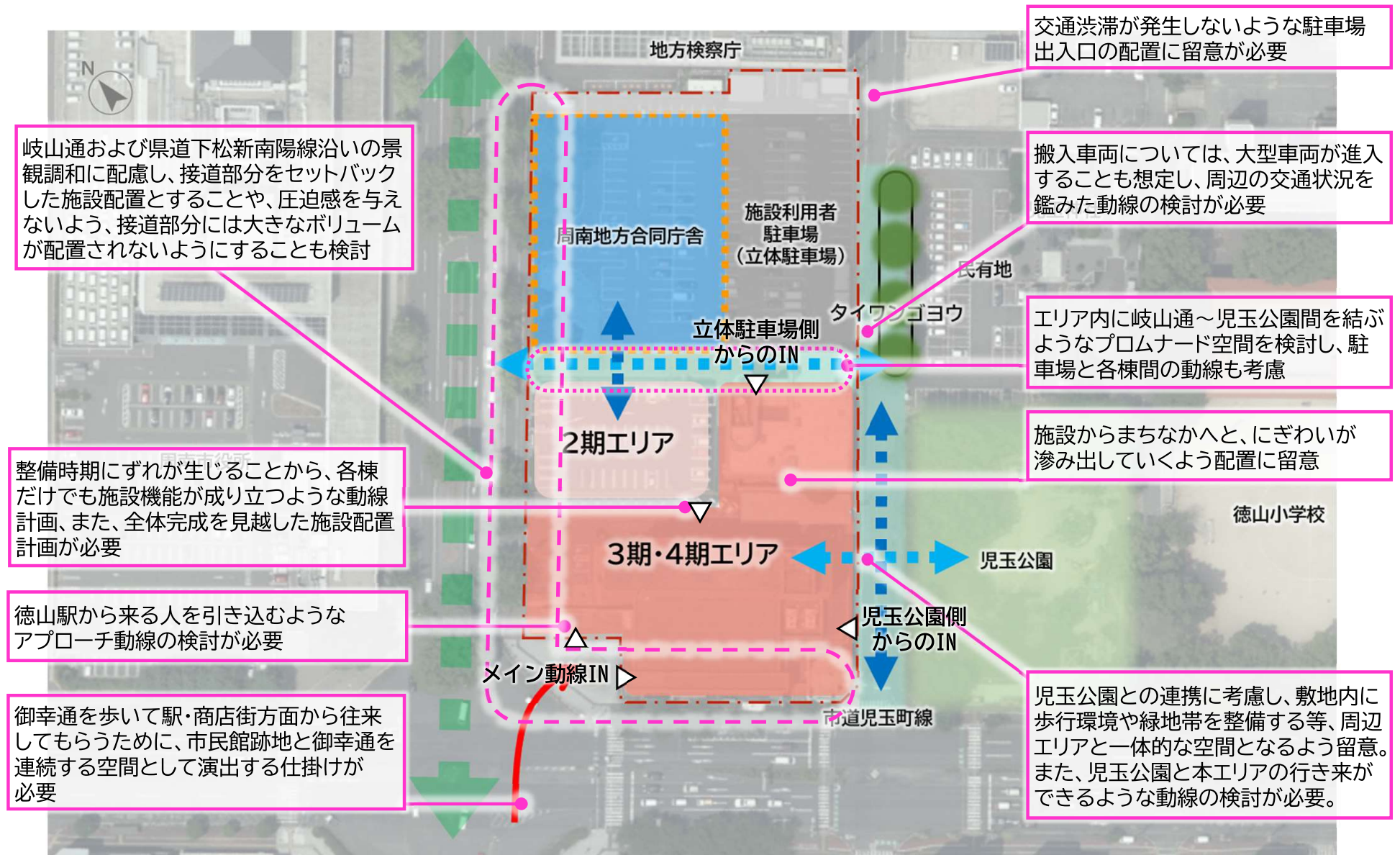
- ・施設からにぎわいが創出され、たくさんの人が集う空間づくりへ寄与することに留意。
- ・岐山通り沿いはメインアプローチ動線となることが想定され、施設からまちなかへと、にぎわいが滲み出していくよう配置に留意。
- ・都心軸形成へ寄与するような、市内施設との関係性を考慮した施設配置のあり方に留意。とくに、市民館跡地周辺を訪れた人が、御幸通を歩いて駅・商店街方面に向かってもらうために、**市民館跡地と御幸通を連続する空間として演出**する仕掛けが必要。

④使いやすい複合施設のあり方

- ・複合化された施設においては、各施設機能における**動線分離やセキュリティの確保**、共用部のあり方などに留意。
- ・どの施設利用者にとっても使いやすい施設となるような配置・ゾーニング計画に留意。とくに**エリア内に岐山通～児玉公園間を結ぶようなプロムナード空間を検討し、駐車場と各棟間の動線も考慮する。**
- ・整備時期にずれが生じることから、各棟だけでも施設機能が成り立つような動線計画、また、全体完成を見越した施設配置計画が必要。

2. 配置計画の考え方

■施設配置における考え方





3. 事業方針案

3.事業方針案

●事業方針(案)

市民館跡地エリア整備コンセプト

日常を紡ぎ、つながりを育て、未来を歩む ～文化とくらしが織りなす交流と創造の空間～

コンセプト実現のために



市民館跡地エリアに
求められる役割・機能

出会い・交流創出
機能

こどもからお年寄りまで誰もが気軽に訪れることができ、
そこで市民同士の交流を生み出す

発信拠点機能

こどもからお年寄りまで色んな活動ができ、
まちの魅力を発信する

創造拠点機能

練習などの文化芸術活動や成果発表など、
市民の文化芸術活動の拠点となる

人材育成機能

市民活動の担い手など、まちで活躍するひとを育てる

こども居場所機能

こどもが色んなことに挑戦できる、
自分らしくいられる居場所をつくる

子育て支援機能

周南市で安心して子育てできるよう
妊娠～子育て中の家庭を支える

健康増進機能

市民の健康づくりや心身の健やかさを支える

求められる役割・機能を具現化



市民館跡地エリアにおける
事業方針

方針① 心地よい居場所で、さまざまな人・もの・ことと出会う

方針② 誰もが文化芸術に親しみ、誰もが主役となって輝く

方針③ こども・若者の健やかな成長を支え、社会で活躍する力を育む

方針④ 一人ひとりの心豊かで健やかな暮らし・活力あるまちをつくる

3.事業方針案

●事業方針(案)

方針① 心地よい居場所で、さまざまな人・もの・ことと出会う

思い思いの時間を過ごせる憩いの場でありながら、そこには、何か活動をしている人、それを眺めている人がいます。そのゆるやかな関係性をきっかけに、これまで接点のなかった人やもの、ことと出会い、お互いに刺激を受けながら成長しあえる施設を目指します。

方針② 誰もが文化芸術に親しみ、誰もが主役となって輝く

文化芸術を、日々の暮らしの中にある身近なものとして捉え、気軽に触れられるよう、他分野と掛け合わせながら多様な体験機会を提供し、「やってみたい」気持ちの喚起につなげます。これをきっかけに、市民が主体的に活動し、発信・表現できるよう支援することで、市民が主役として輝くことのできる場を目指します。

方針③ こども・若者の健やかな成長を支え、社会で活躍する力を育む

低年齢の親子の遊びや交流の場から、気軽に相談や支援にもつながる施設を目指します。また、こども・若者にとって居心地が良い環境で、学びや体験、人との交流を通じて、心身の健やかな成長を支えます。ここでの経験がそれぞれの可能性を広げ、社会参画の準備運動となる施設を目指します。

方針④ 一人ひとりの心豊かで健やかな暮らし・活力あるまちをつくる

多様な活動を行う幅広い世代の人が成長しあうことで、まちや文化を支える新たな担い手を育みます。また、これまで積み上げてきた周南らしい文化や周南での暮らしに新たな価値を創出し、まちの魅力向上に寄与します。さらに、施設で生まれた活動や関係性がまちへ還元されることで、心身ともに健やかで、潤いのある生き生きとした暮らしの実現につなげます。

3.事業方針案

方針① 心地よい居場所で、さまざまな人・もの・ことと出会う

- ・日常的な憩い、交流の場を提供する
- ・多世代・他ジャンルとの交流ができる場を提供する



西神中央ホール(兵庫県)

The Winter time with Coffee & Art

屋外に面した共用部と併設カフェにて、コーヒーとアートのワークショップを開催。同時にキッチンカーも呼び、憩いの場を創出。



デザイン・クリエイティブセンター神戸KIITO(兵庫県)
出典: KIITO公式HP

LIFE IS CREATIVE FESTIVAL

施設で継続して取り組んできた各プロジェクトがブース出展。こどもからシニアまで、共に手を動かし学び合いながら、「つくること」は社会をひらく創造性につながることを実感するフェスティバル。

3.事業方針案

方針② 誰もが文化芸術に親しみ、誰もが主役となって輝く

- ・多様な文化芸術に触れる機会を提供する
- ・市民活動の活性化や発信・表現する機会を提供する



長久手市文化の家(岐阜県)
出典:長久手市文化の家公式HP

おんぱく

施設が丸ごと音楽のテーマパークになるイベント。ワークショップやコンサート、スタンプラリーなど、色々な形で音楽を楽しめる。開催前に市内でプチコンサートを実施。



守山市民ホール(滋賀県)
出典:ルシオール ユース ウインド オーケストラ公式HP

ルシオール・アカデミー文化部門

小学生対象の「ルシオールジュニアバンド」と中高生対象の「ユース ウインド オーケストラ」の2吹奏楽団を施設が運営。練習場所と定期演奏会会場を提供。

3.事業方針案

方針③ こども・若者の健やかな成長を支え、社会で活躍する力を育む

- ・妊婦から子育て世代の遊びや交流、学びや相談・支援等を包括的に提供する
- ・自由に過ごせる居場所を提供する
- ・体験や多世代交流の機会を提供する、主体的な活動や発信・表現する機会を提供する



パパ同士楽しく作る離乳食と、おつまみ

子育て中のプロの料理人と一緒に、こどもの離乳食とおつまみ作りを同じパパ目線で楽しく作る料理講習会。



ユタラボオフィス

10代と20代の若者を中心とした、学校・職場・家庭以外の「サードプレイス」として解放している。



SAKUフェス

中学生～20歳未満を対象に、若者による若者のためのイベント「SAKUフェス」の実行委員を募集。企画～当日運営まで担う。

3.事業方針案

方針④ 一人ひとりの心豊かで健やかな暮らし・活力あるまちをつくる

- ・市民と協働し、まちで活躍する新たな人材を発掘・育成する
- ・施設で様々な経験を積んだ人が新たな活動の担い手となり、各地域へ交流の輪を広げる

市民企画公募事業 2024 in 東り いたみホール

参加団体募集

「文化・芸術」をテーマにこどもが楽しめるコンサートや講座などの企画を東り いたみホールと一緒に開催してみませんか？
はじめての方は企画・立案からサポートします。
みなさまからのご応募お待ちしております！

実施日
2024年 2月17日(土)
2月18日(日)

応募締め切り
2023年 10月15日(日) 必着

伊丹市立文化会館 東り いたみホール(兵庫県)
出典:伊丹市立文化会館東り いたみホール公式HP



小美玉市小川文化センターアピオス(茨城県)
出典:小川文化センターアピオス公式HP

いたmeets(み～つ)子どもと楽しむ フェスティバル

文化・芸術をテーマにこどもが楽しめるコンサートや講座などの企画を市民団体から募集。施設は企画～伴走支援を行う。

Kenjoy!(Let's enjoy KENDAMA)

施設を拠点に育った活動団体が、施設を離れ、市内各地域でのアウトリーチ活動に取り組む。



4. 施設運営の考え方

4-1. 他施設運営パターン

(1)管理運営方法の種類

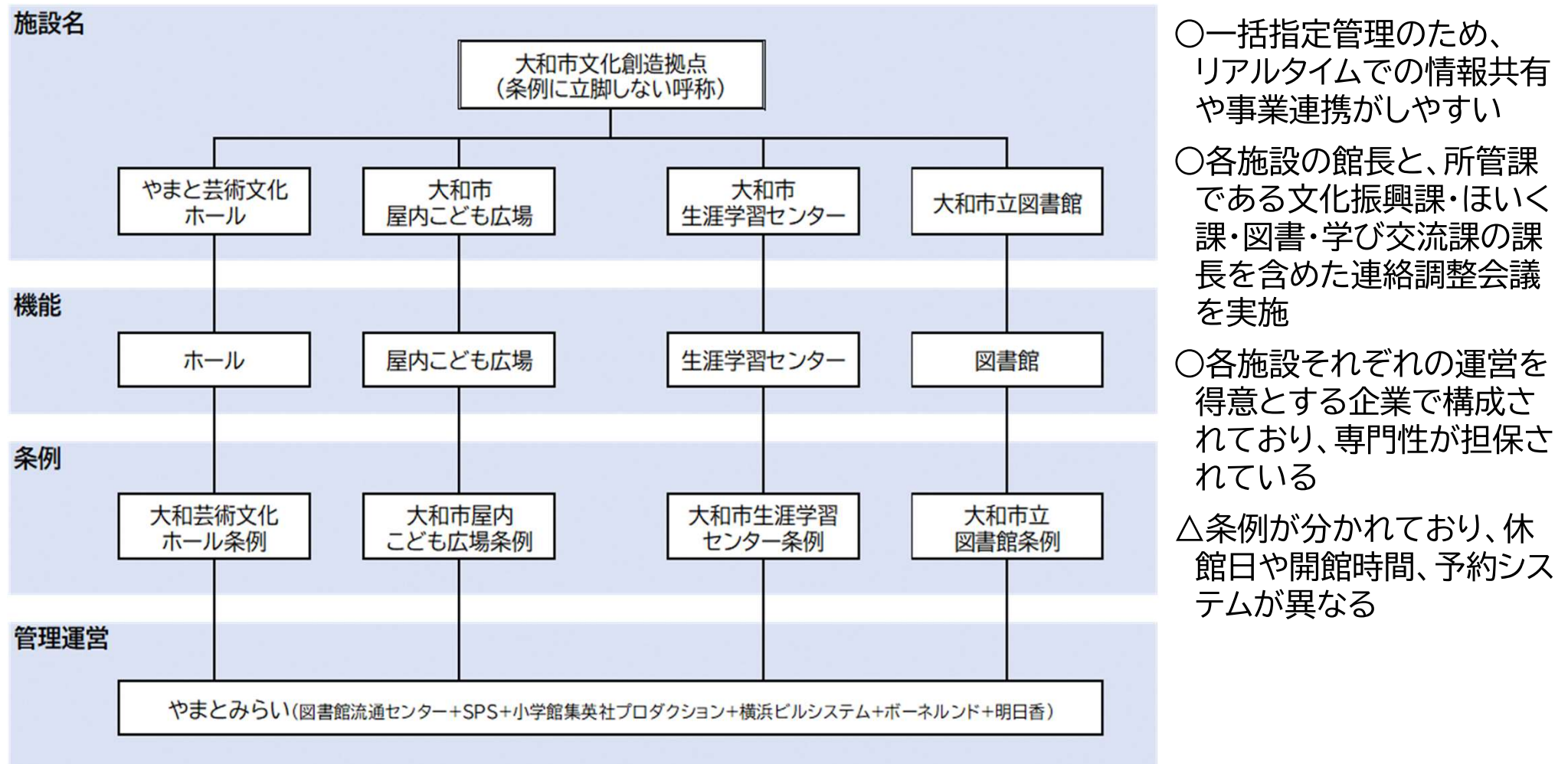
- 公共施設の管理運営方法として、市が直接運営を行う「直営」と特定の事業者を指定し行う「指定管理」がある。一部業務のみ切り出し、「業務委託」する場合もある。
- 指定管理者については、民間事業者・財団・NPO等が単独もしくは共同企業体を構成して運営する。

(2)市内類似施設の管理運営方法

周南市文化会館	文化振興課	指定管理
学び・交流プラザ(図書館除く)	生涯学習課	委託(貸館・維持管理業務)
新南陽ふれあいセンター (プール・図書館除く)	新南陽総合支所 地域政策課	委託(維持管理業務)
熊毛勤労者総合福祉センター (サンウイング熊毛)	商工振興課	委託(維持管理業務)
徳山保健センター こども家庭センター	健康づくり推進課 あんしん子育て推進課	委託(保健センター貸館・維持管理業務) 直営(こども家庭センター)
子育て交流センター	こども保育課	直営

4-1. 他施設運営パターン

(3)管理運営方法の事例 大和市文化創造拠点シリーズ:一括指定管理



○一括指定管理のため、リアルタイムでの情報共有や事業連携がしやすい

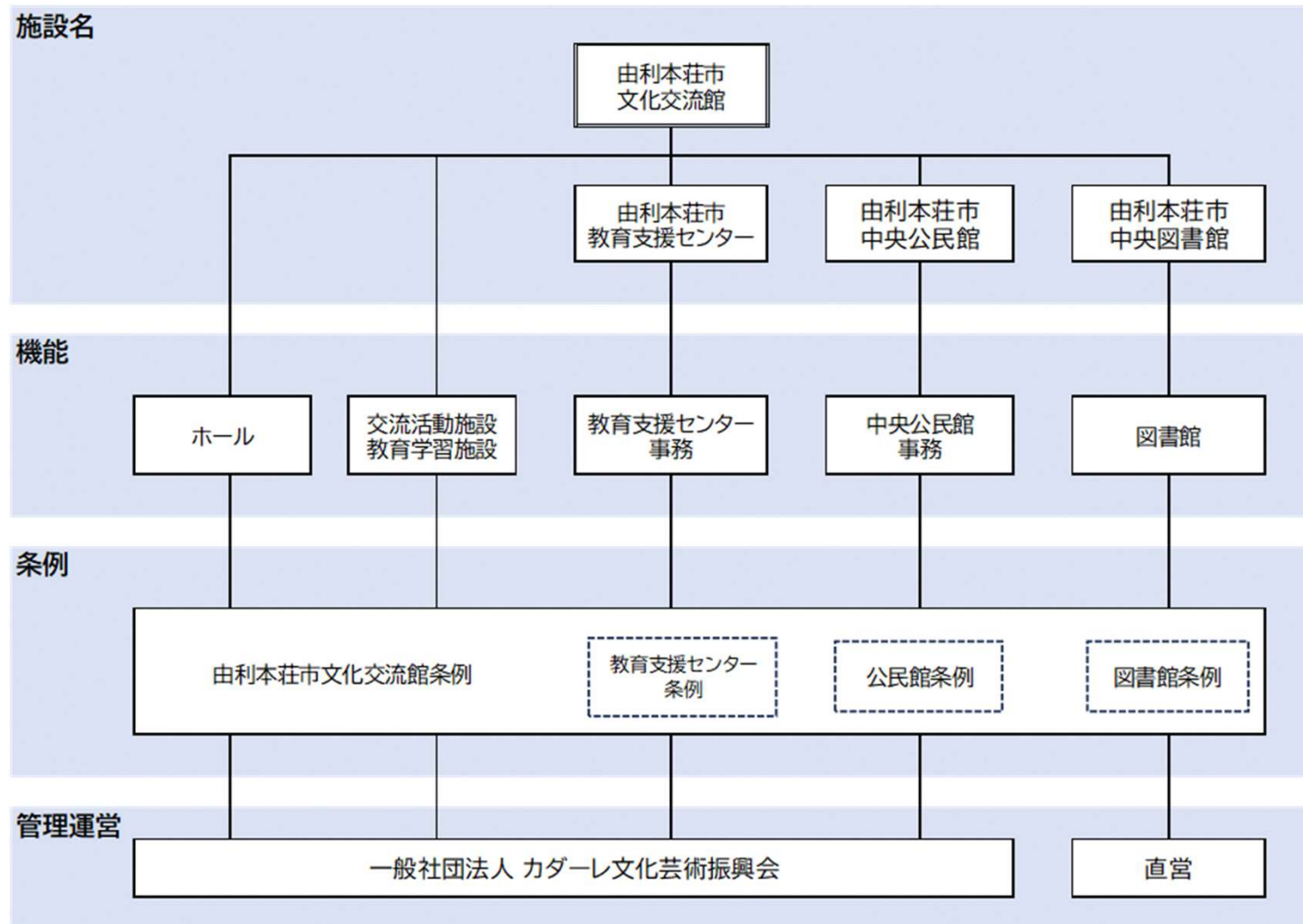
○各施設の館長と、所管課である文化振興課・ほいく課・図書・学び交流課の課長を含めた連絡調整会議を実施

○各施設それぞれの運営を得意とする企業で構成されており、専門性が担保されている

△条例が分かれており、休館日や開館時間、予約システムが異なる

4-1. 他施設運営パターン

(3)管理運営方法の事例 由利本荘市文化交流館カダーレ:直営・指定管理MIX

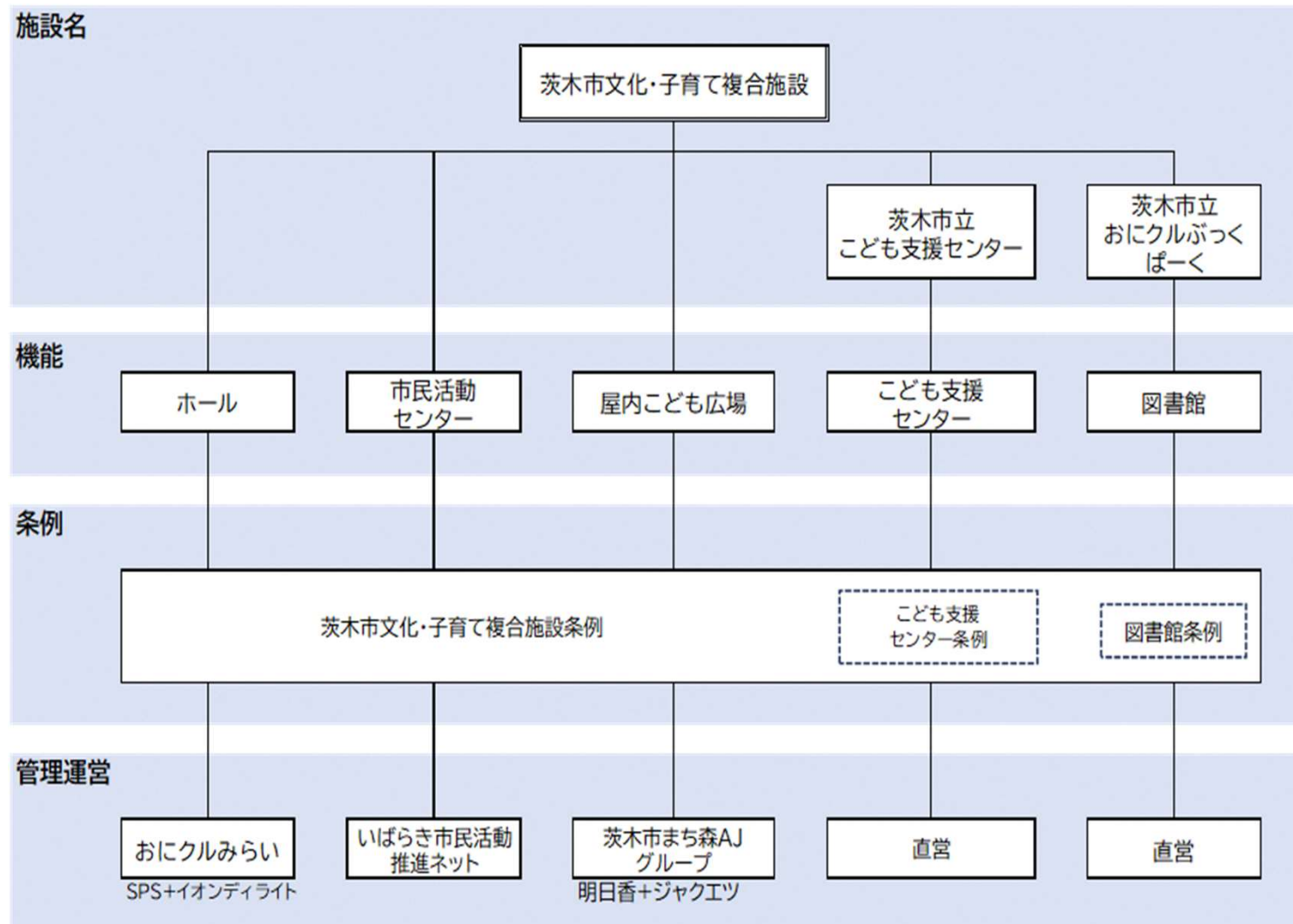


○条例が一本化(図書館条例等はリンク結合)されており、貸室は文化交流館条例に集約されているため、休館日や窓口が統一されている

△図書館のみ直営のため、営業時間が異なる

4-1. 他施設運営パターン

(3)管理運営方法の事例 茨木市文化・子育て複合施設おにクル:直営・指定管理MIX



○各施設の所管課は異なるが、施設全体の調整・窓口を共創推進課に一本化されている

○所管課職員と指定管理者で構成された会議体で、施設全体の連携事業等について協議している

○休館日は統一されている

△条例は一本化(図書館条例等はリンク結合)されているが、営業時間はホール・市民活動センターと屋内こども広場と図書館とで異なる

△ホールと市民活動センターの予約システムは同じだが、申込方法や窓口は統一されていない

△運営主体が多く、所管課の調整負荷が大きい

4-1. 他施設運営パターン

(4)公共施設の管理運営方法別の主な特徴

- 一括指定管理の場合、窓口や申込方法が一本化され、予約手続きがスムーズ。また、各分野の運営者による専門性が担保されつつも事業や人材配置において密接に連携できる。
- 直営の場合、市の施策を確実に実現したり、施設外との連携において優位性がある。
- 管理運営方法の如何に関わらず、条例が一本化されているか、施設ごとに定められているかによって、貸出ルールの統一性や予約手続きの煩雑さが異なる。

	直営	指定管理
特徴	×業務分担が縦割りとなり、硬直化してしまう ×人事異動によるノウハウの継承が難しく、専門的人材の継続的確保が課題 ×予算の確保や運用面での縛りが多く、効率性や収益性のインセンティブが働きにくい ○市の施策や関連部署(教育、福祉、まちづくりなど)との連動性が高い ○地域の実情を踏まえた市民協働が可能	○専門的人材・ノウハウを有し、質の高いサービスや事業の提供が期待できる △分割指定管理の場合、業務分担が縦割りとなる可能性がある ○予算の柔軟な運用や効率的な運営が可能 ×指定期間による人材・事業の不安定化、終了・交代に伴う切替の混乱が生じる △所管課が積極的にサポートしないと施設外との連携は図りにくい

4-2. 本施設における管理運営の基本的な考え方

(5)施設における管理運営の基本的な考え方

- 様々な目的を持つ人が集まり、成長しあえる施設となるには、各導入部門の枠を超えた空間の柔軟な利活用や横断的な事業展開、施設内外の多様な主体との連携など、エリア全体を一体的に活用する視点が必要。
- 各導入部門の専門性を担保しつつも、相互に連携・補完し合うことで複合施設としてのメリットを最大化できるよう、施設機能間を横断的につなぐコーディネート機能を持つこと、市民が施設で新たな活動や交流を生み出し、それらを育てながら地域へ広げていけるよう、市民・地域との共創を促進する機能を持つことが求められる。
- 保健センター部門は市の保健事業の拠点として、子育て支援部門はこども・子育てに関する相談・支援窓口として、それぞれ市の施策との密接な連携に基づくサービスの提供が必要。

⇒これらを実現するべく、行政と民間それぞれの強みを活かしながら、柔軟かつ効果的な施設運営を実現できるよう、「指定管理者制度と直営の併用」をベースに検討を進めます。